

第81回

定時株主総会

2023年6月27日

セイコーエプソン株式会社

2022年度 事業概要

新型コロナウイルス影響

半導体



部材費や輸送価格
高騰継続



光熱費の高騰による
コスト増

部材・物流コストの抑制、費用コントロールを継続

需給バランスに応じた
価格対応

販売モデルミックスの
改善

売上収益

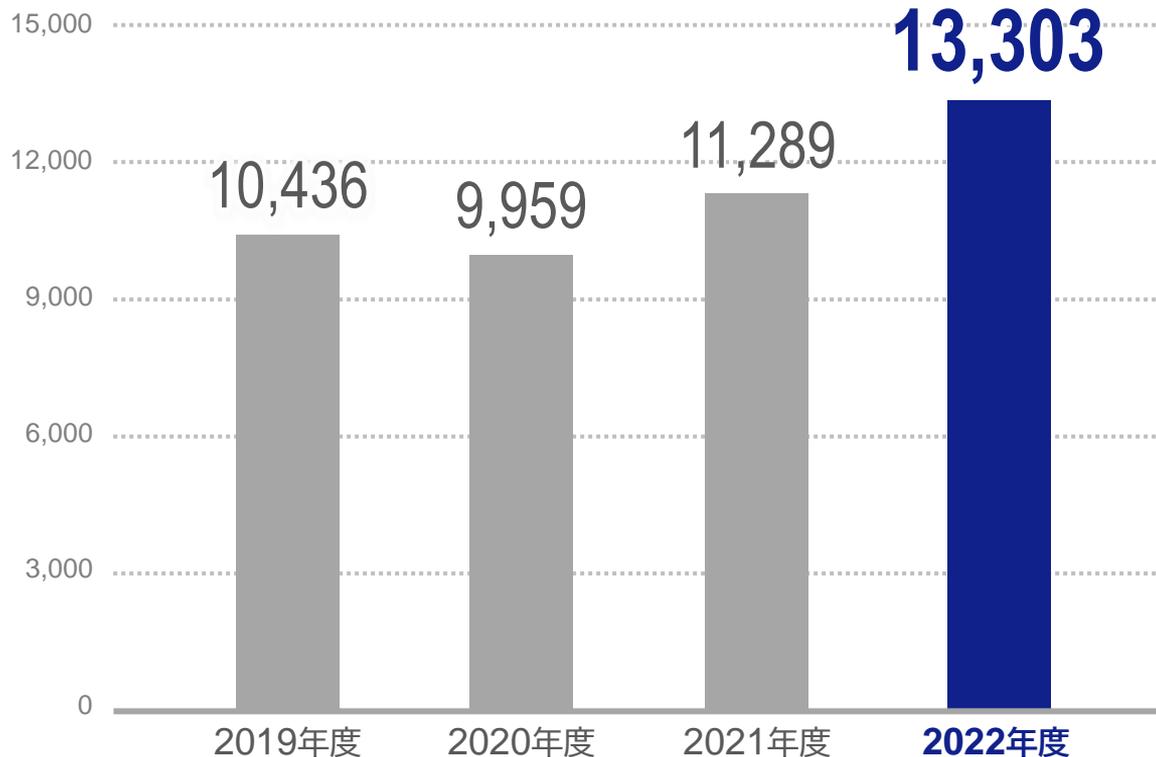
13,303 億円

前期比

17.8%増



(単位: 億円)



事業利益

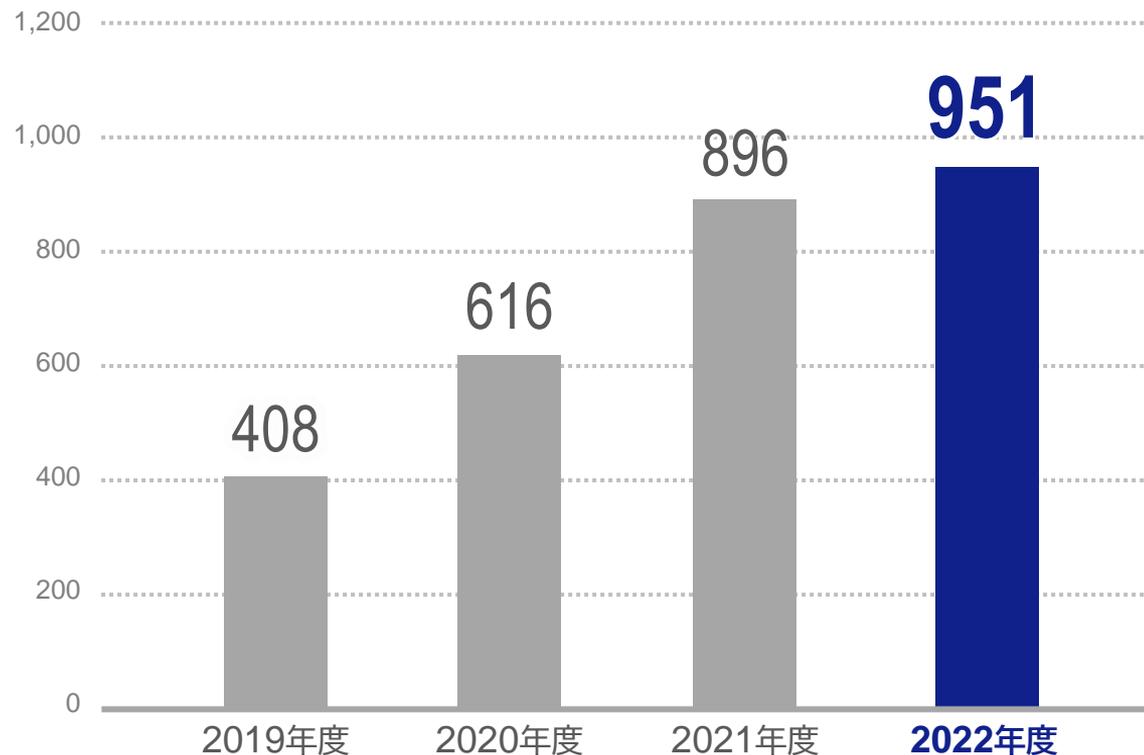
951億円

前期比

6.1%増



(単位:億円)



営業利益

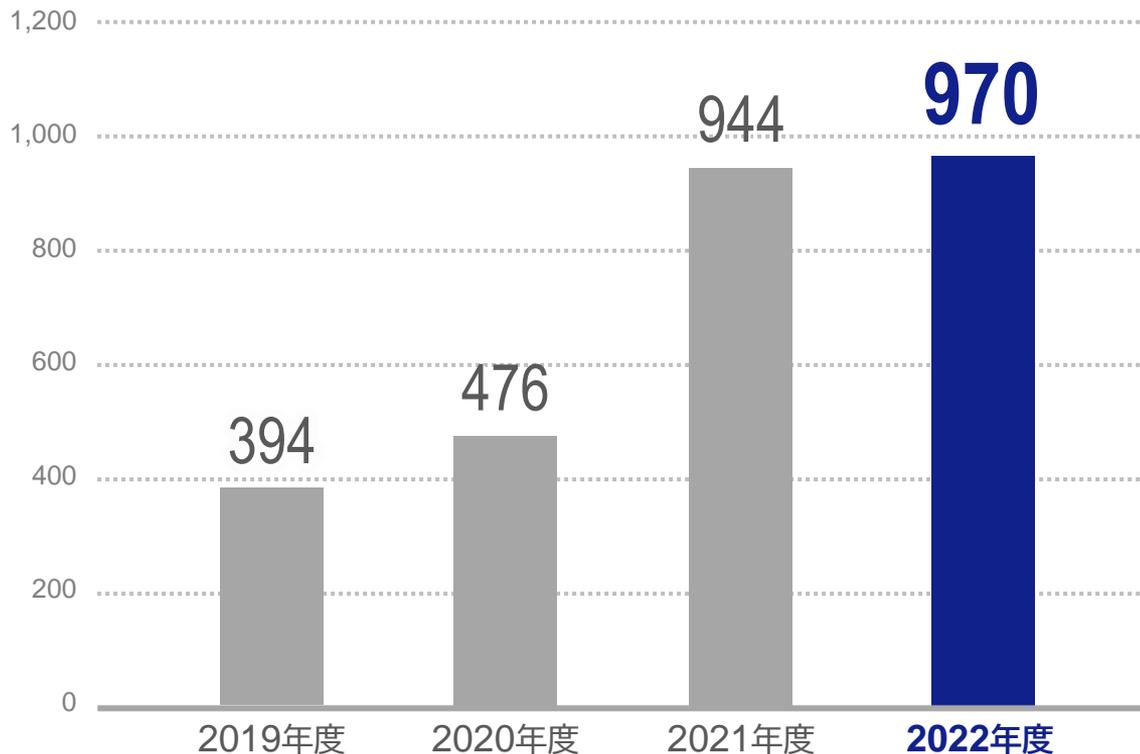
970億円

前期比

2.7%増



(単位:億円)



親会社の所有者に 帰属する当期利益

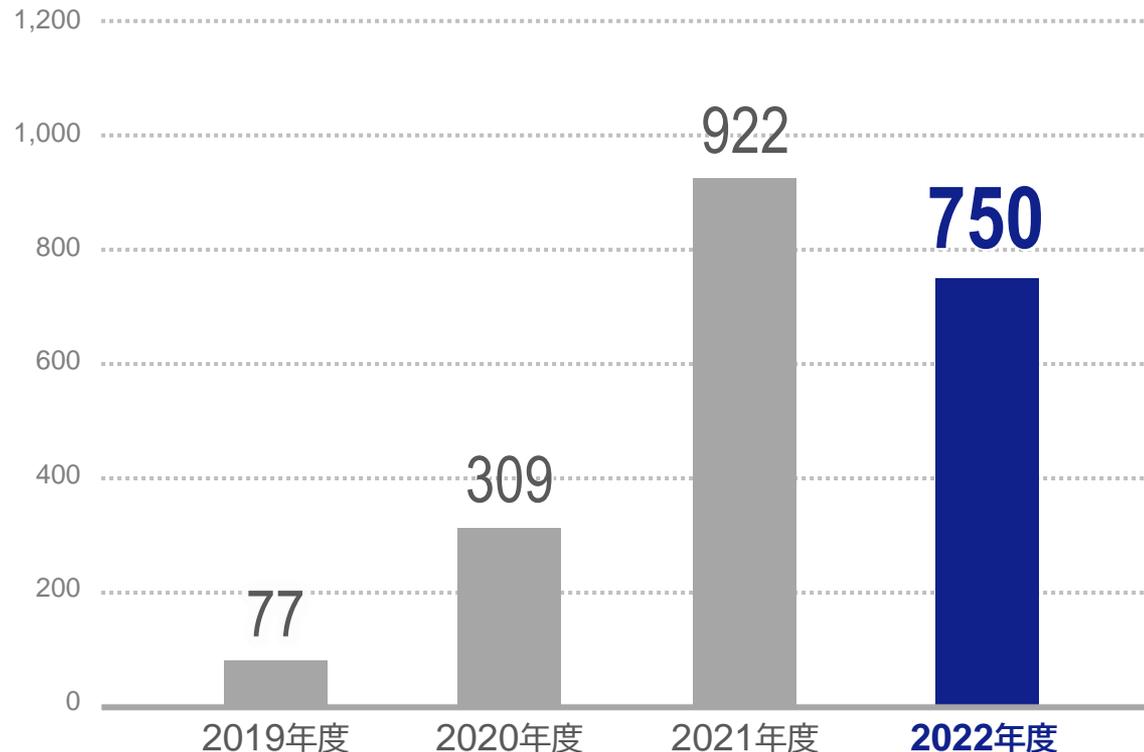
750億円

前期比

18.7%減



(単位:億円)



繰延税金資産の積み増しがあった
前年度に対して減益

2022年度 平均為替レート

USDollar

135.44円

前期比

21%円安



ユーロ

140.90円

前期比

8%円安



その他通貨

114

円安に推移

※ その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、2021年度を100とした指数

各セグメントの状況

オフィス・ホームプリンティング

大容量インクタンクモデルの販売が伸長



インクジェットプリンター
本体販売台数

過去最高**1,700**万台

高値販売の継続 ➔ **売上増**

部材費・物流費の高騰
為替のマイナス影響 ➔ **減益**

オフィス・ホームプリンティング

インクの売上

インクカートリッジ



減少

大容量インクボトル

オフィス共有インク



増加

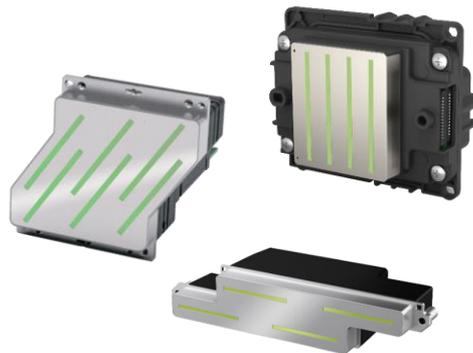
商業・産業プリンティング

完成品



販売伸長は限定的

インクジェットプリントヘッド



販売伸長

小型プリンター



販売伸長

増収・増益

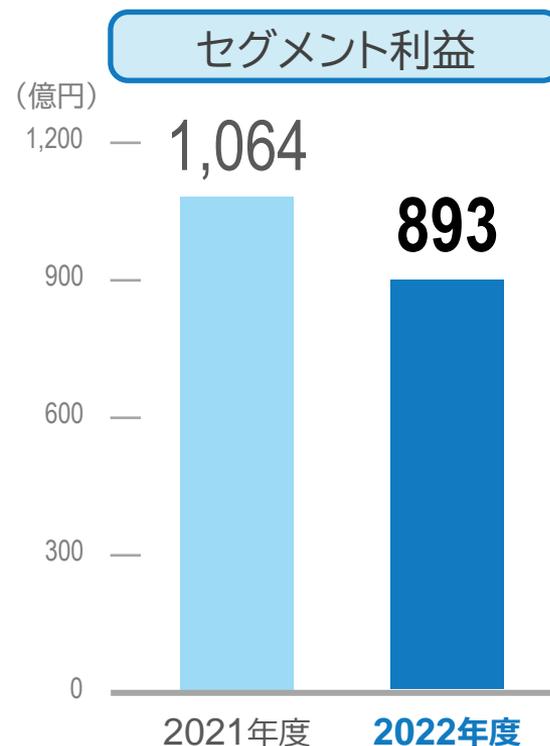
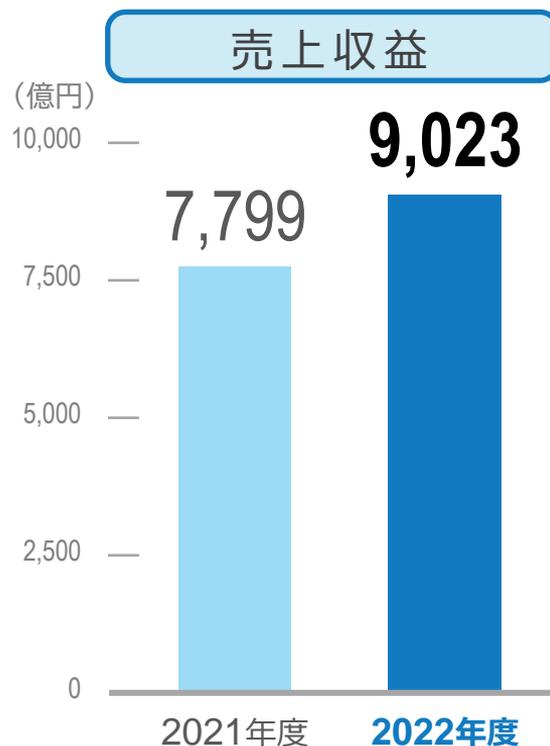
売上収益

9,023億円

前期比 15.7%増 

セグメント利益

893億円

前期比 16.1%減 

プロジェクター

ビジネスプロジェクター



ホームプロジェクター



販売数量 伸長 ➡ **増収**

固定費抑制
モデルミックス改善 ➡ **大幅な増益**

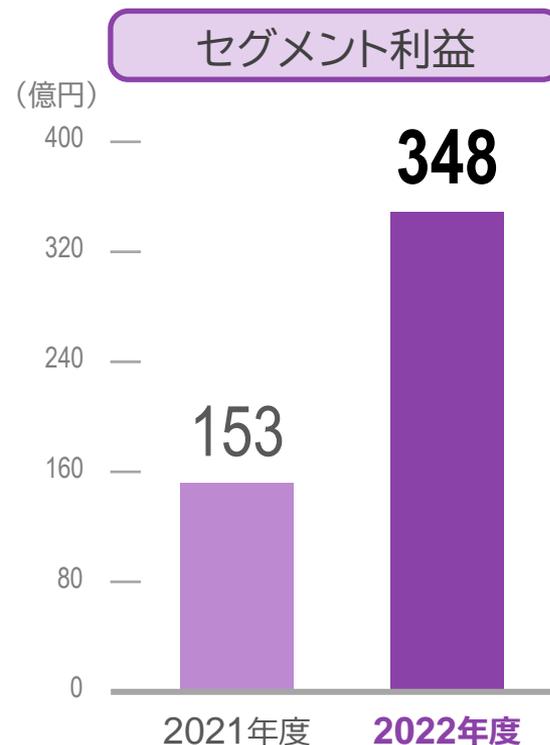
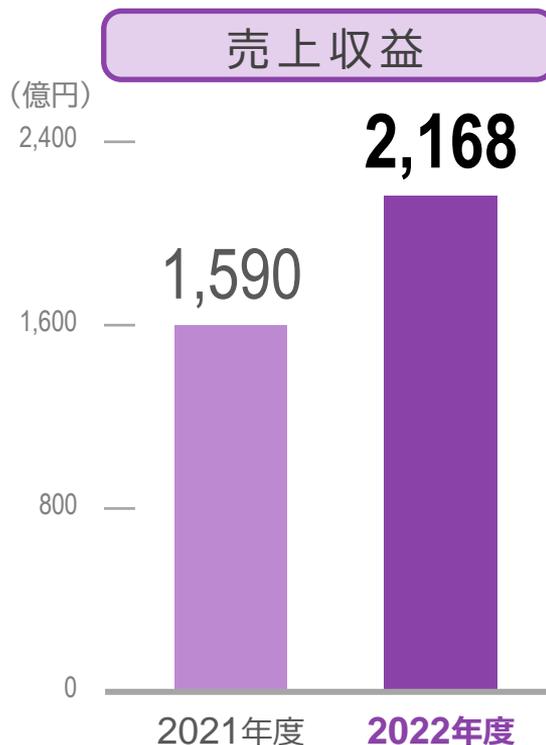
売上収益

2,168億円

前期比 36.4%増 

セグメント利益

348億円

前期比 127.2%増 

マニファクチャリングソリューションズ



中国市場での事業環境変化の影響

前年度並みの売上

ウェアラブル機器




ORIENT STAR

セイコーウォッチ向けビジネス
企画・販売: セイコーウォッチ(株)

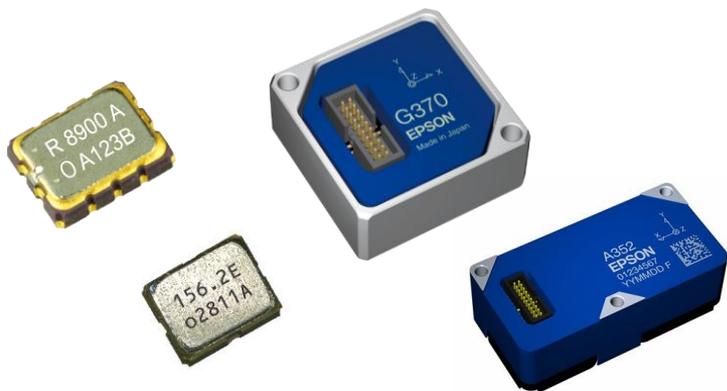
国内 → インバウンド需要が回復傾向

海外 → 軟調

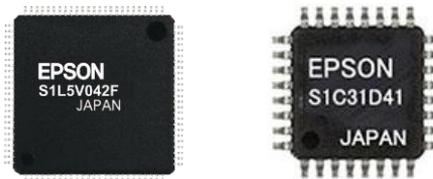
増収は限定的

マイクロデバイス他

水晶デバイス



半導体



民生機器向けの需要に弱い動きが見られたものの

増収

売上収益

2,154 億円

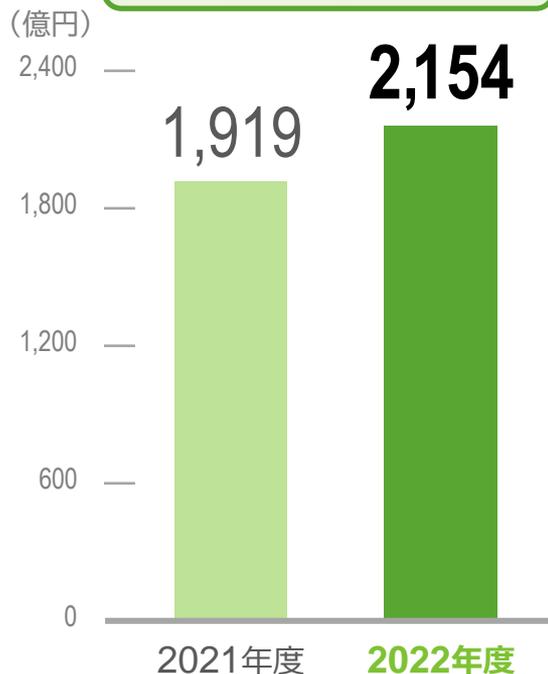
前期比 12.2%増 

セグメント利益

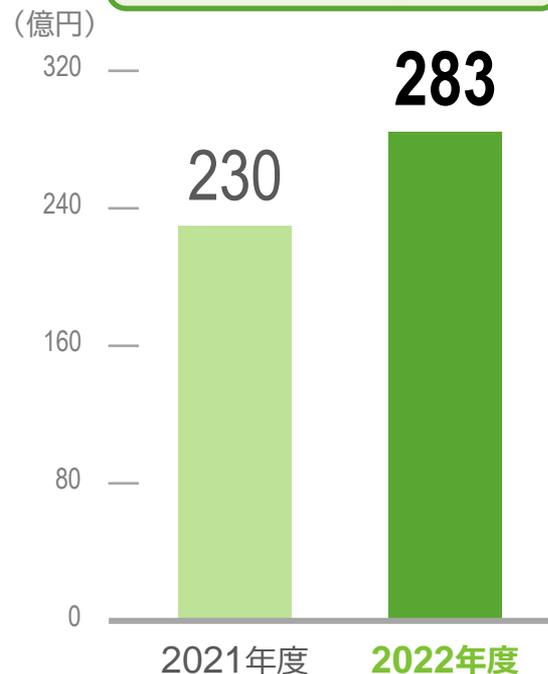
283 億円

前期比 22.9%増 

売上収益



セグメント利益



長期ビジョン「Epson 25 Renewed」の
進捗状況と成長領域への取り組み

- Epson 25 Renewed 発表以降、**COVID-19**影響、為替変動など外部環境は大きく変化
- 部材費高騰や供給制約が生じたが、価格対応や費用コントロールを実施
- 成長領域や新領域で将来成長に向けた仕込みは進む

	2021～2023年度	～2025年度	～2025年度(目標)	2022年度(実績)	
成長領域	オフィスプリンティング 商業・産業プリンティング プリントヘッド外販 生産システム	成長戦略の実現		2020→25年度 売上収益 CAGR +15% 以上	2020→22年度 売上収益 CAGR +16%
	プロジェクション ウオッチ	構造改革		2020→25年度 ROS改善 +10 pt以上	2020→22年度 ROS改善 +19 pt
成熟領域	ホームプリンティング マイクロデバイス	収益性維持・向上		継続的に ROS 15% 以上	2022年度 ROS 17%
	センシング 環境ビジネス	ビジネス立ち上げ	成長戦略 の実現	2025年度 売上収益 100 億円以上	2022年度 売上収益 3 億円

*Epson 25 Renewed 発表時のFY2020予想とFY2022実績との比較

成熟領域で安定的に資金を創出 ➡ 成長領域の強化・伸長

	2021～2023年度	～2025年度	～2025年度(目標)	2022年度(実績)	
成長領域	オフィスプリンティング 商業・産業プリンティング プリントヘッド外販 生産システム	成長戦略の実現		2020→25年度 売上収益 CAGR +15% 以上	2020→22年度 売上収益 CAGR +16%
	プロジェクション ウォッチ	構造改革	収益性維持・向上	2020→25年度 ROS改善 +10 pt 以上	2020→22年度 ROS改善 +19 pt
成熟領域	ホームプリンティング マイクロデバイス	継続的に ROS 15% 以上		2022年度 ROS 17%	
新領域	センシング 環境ビジネス	ビジネス立ち上げ	2025年度 売上収益 100 億円 以上	2022年度 売上収益 3 億円	

*Epson 25 Renewed 発表時のFY2020予想とFY2022実績との比較

収益性を重視した経営を継続

全社業績目標	2022年度(実績)	2023年度(予想)	2025年度(目標)
ROIC^{*1}	7.1%	7.3%	11% 以上
ROE^{*2}	10.8%	8.9%	13% 以上
ROS^{*3}	7.1%	7.4%	10% 以上

*1 ROIC = 税引後事業利益 / (親会社の所有者に帰属する持分 + 有利子負債)

*2 ROE = 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分
親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末を平均して算出

*3 ROS = 事業利益 / 売上収益

オフィス向けラインインクジェット複合機 ラインアップ拡充

- 複合機のボリュームゾーンである中速帯の商品投入
- 環境負荷を低減し脱炭素社会の実現に貢献
- レーザー方式からインクジェットへの置き換え加速

中速帯 新ラインアップ

LM-C4000(40枚/分)

LM-C5000(50枚/分)

LM-C6000(60枚/分)



Heat-Free Technology



PRECISIONCORE
HEAT-FREE

熱を使わずにインクを吐出し、
低消費電力を実現する
インクジェット技術

さまざまなジャンルに効率的に商品を投入 販売を伸長

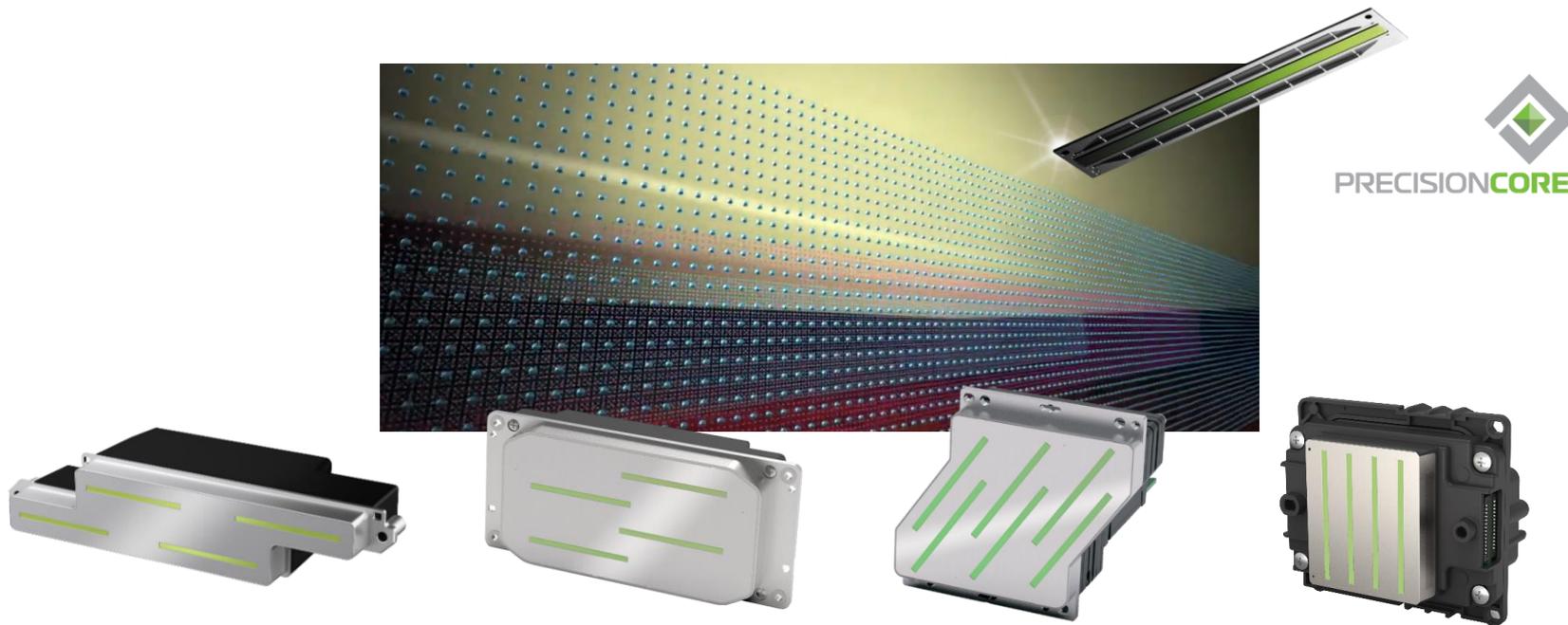


捺染分野



広告・サイン分野

中国を中心に販売をさらに拡大



豊富な商品ラインアップ

エプソンの商品群で工場をさらにコンパクトに



デジタル化・自動化によるものづくり革新

豊富なラインアップにより、さらなる販売拡大、成長を目指す

大容量インクタンク
モデル
販売台数推移



2010年10月
初代モデル「L200」



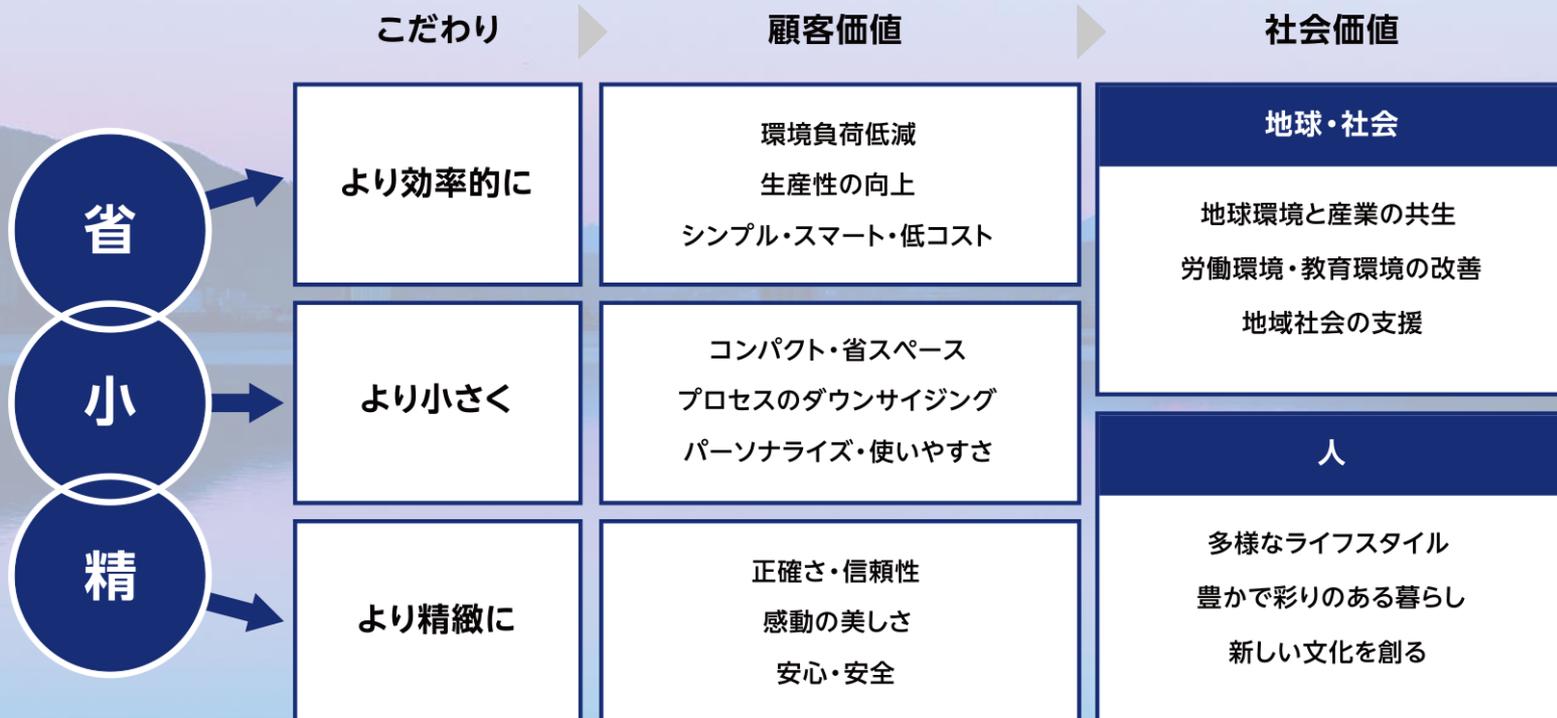
※ IJP:インクジェットプリンター

企業価値向上への取り組み

パーパス制定



「省・小・精」から生み出す価値で
人と地球を豊かに彩る

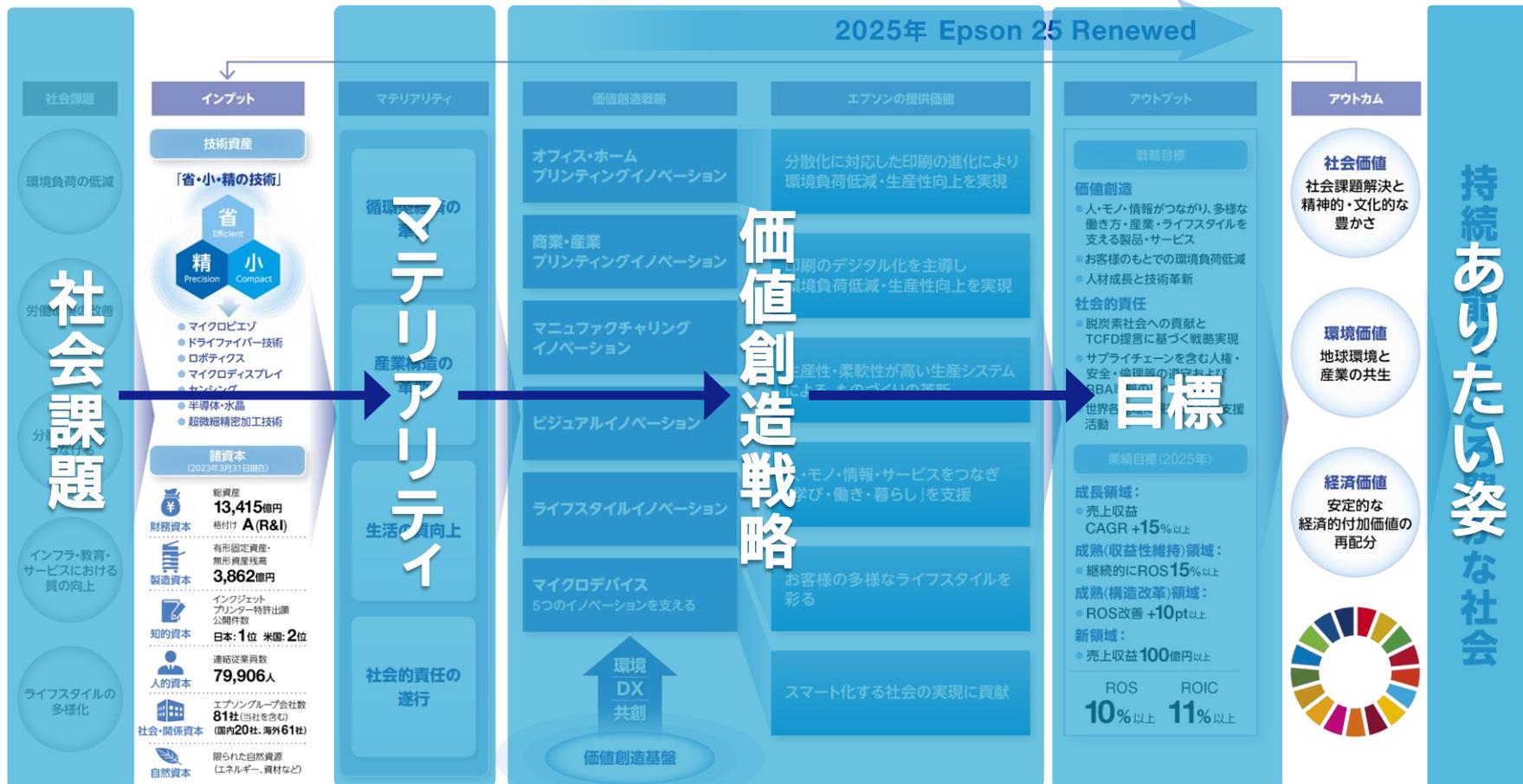


企業価値向上への取り組み

長期ビジョン「Epson 25 Renewed」



持続可能でこころ豊かな社会を実現する





環境負荷の低減



労働環境の改善



分散型社会
をつなげる



インフラ・教育・
サービスにおける
質の向上



ライフスタイルの
多様化

社会課題解決に向け取り組むべき重要課題



循環型経済の牽引



産業構造の革新



生活の質向上



社会的責任の遂行





循環型経済の牽引

- 脱炭素の取り組み
- 資源循環の取り組み
- お客様のもとでの環境負荷低減
- 環境技術開発





循環型経済の牽引

○ 脱炭素の取り組み

再生可能エネルギー
活用状況

■ 太陽光発電
■ 再エネ電力

フランス、ドイツ
イタリア、オランダ
スペイン、英国など

■ 太陽光発電
■ 太陽熱利用
■ 再エネ電力

中国

■ 再エネ電力
韓国

■ 太陽光発電
■ 地熱・太陽熱利用
■ 再エネ電力

日本

2021年11月 国内拠点
再生可能エネルギー転換完了

100%

■ 太陽光発電
■ 再エネ電力
米国

■ 太陽光発電
■ 太陽熱利用
■ 再エネ電力

インド、インドネシア
フィリピン、
シンガポール、タイ

■ 再エネ電力
オーストラリア

■ 太陽光発電
■ 再エネ電力
ブラジル

全世界においては **2023年の達成** を目指す



循環型経済の牽引

○ 資源循環の取り組み

再生プラスチック使用プリンターの機種拡大



EP-M553T

本体のプラスチック

約**30%***

リサイクル素材を使用

* 使用するプラスチック全体の質量に対する比率

再整備プログラムとリファービッシュ品の対象製品拡大



SC-S80650



新品製造との環境負荷の比較(CO₂換算)



循環型経済の牽引

○ お客様のもとでの環境負荷低減

オフィス環境で使われるプリンターを
レーザー方式からインクジェット方式へ

完全シフト宣言

環境負荷を低減し脱炭素社会の実現に貢献

2026年を目標にレーザープリンター本体の販売を終了。
なお、エプソンのレーザープリンターをご利用中のお客様には、
レーザープリンター販売終了後も引き続き安心してご利用いただけるように、
消耗品、保守部品ともに長期にわたり提供し、サポートも継続。



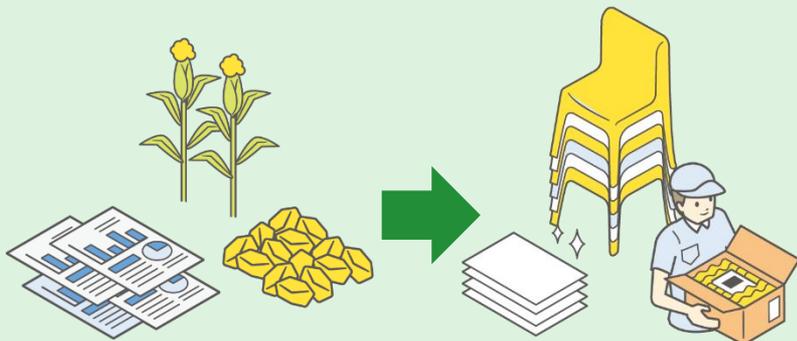


循環型経済の牽引

○ 環境技術開発

ドライファイバーテクノロジー拡大/応用

水を使わない※繊維化の技術で
素材の高機能化を実現



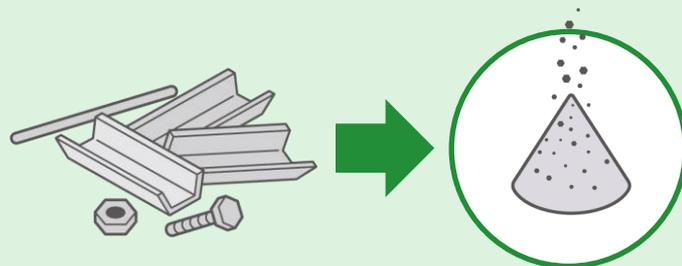
【廃棄物・原料】

【高付加価値なモノ】

※適度な湿度が必要です

金属リサイクル

不要な金属を原料として資源化



【不要な金属】

【原料(資源化)】



産業構造の革新



- デジタル化・自動化による生産性向上
- 労働環境・教育環境の改善



産業構造の革新

○ デジタル化・自動化による生産性向上

自動化による労働力不足の解消



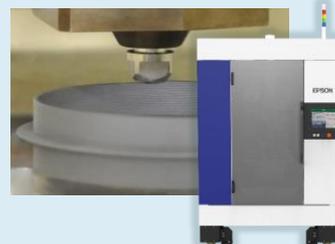
少量多品種・短納期対応



【インクジェットデジタル捺染機】



【デジタルラベル印刷機】



【産業用3Dプリンター】



【小型射出成形機】



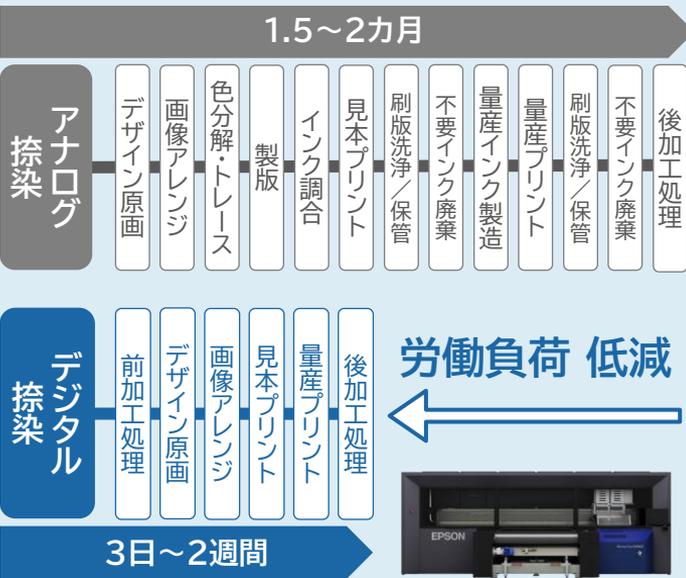
産業構造の革新

○ 労働環境・教育環境の改善

デジタル化による労働環境の改善



クリーンで
安全な
印刷環境



プロジェクターの教育分野での活用



公平で質の高い教育環境の提供



生活の質向上

- 多様なライフスタイルの提案
- 豊かで彩のある暮らしの実現



生活の質向上

○ 多様なライフスタイルの提案

センサーを用いた安心・安全サービスの提供



○ 豊かで彩のある暮らしの実現

感性に訴える高品質な商品の提供



Android™ TV 機能搭載プロジェクター





社会的責任の遂行



- ステークホルダーエンゲージメントの向上
- 責任あるサプライチェーンの実現
- 人権の尊重とダイバーシティの推進
- ガバナンスの強化



社会的責任の遂行

WWFとの国際的・ コーポレートパートナーシップ



世界の森林保全と回復に向け
3年間のパートナーシップを開始

JICAとの包括連携協定



開発途上国の課題解決および
SDGs達成への貢献

松本市包括連携協定の締結



松本市 上高地

持続可能な循環型社会の実現
豊かな社会の創造
地域の活性化

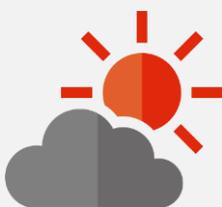
2023年度 業績予想

	2022年度 下期	2023年度 上期	2023年度 下期
経済			

世界銀行は、2023年の実質GDP成長率は**2.1%**と、**2022年の3.1%から低下すると予測**

- 世界的なインフレ進行による消費冷え込みや金融引き締め
- ロシアによるウクライナ侵攻の長期化による地政学的なリスク

下振れリスク
高まり

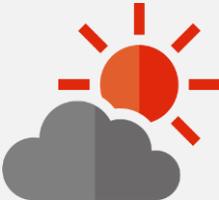
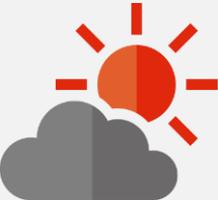
	2022年度 下期	2023年度 上期	2023年度 下期
供給制約			

部材調達難は大幅に改善 サプライチェーンの混乱も収束
供給制約は大きく改善 ➡ 販売台数増を見込む

他社との競争環境は厳しくなることが予想

➡ オフィス・ホームIJPなどで需給バランスの変動による価格低下を見込む

※ IJP:インクジェットプリンター

	2022年度 下期	2023年度 上期	2023年度 下期
コスト			

- 高騰してきた部材費は横ばいで推移
- 海運運賃の改定などにより、物流費は減少

販売数量増加

→ 生産やプロモーションなどの費用増

2023年度 通期業績予想

売上収益

1兆3,600億円

前期比 2.2%増

事業利益

1,000億円

前期比 5.1%増

親会社の所有者に帰属する

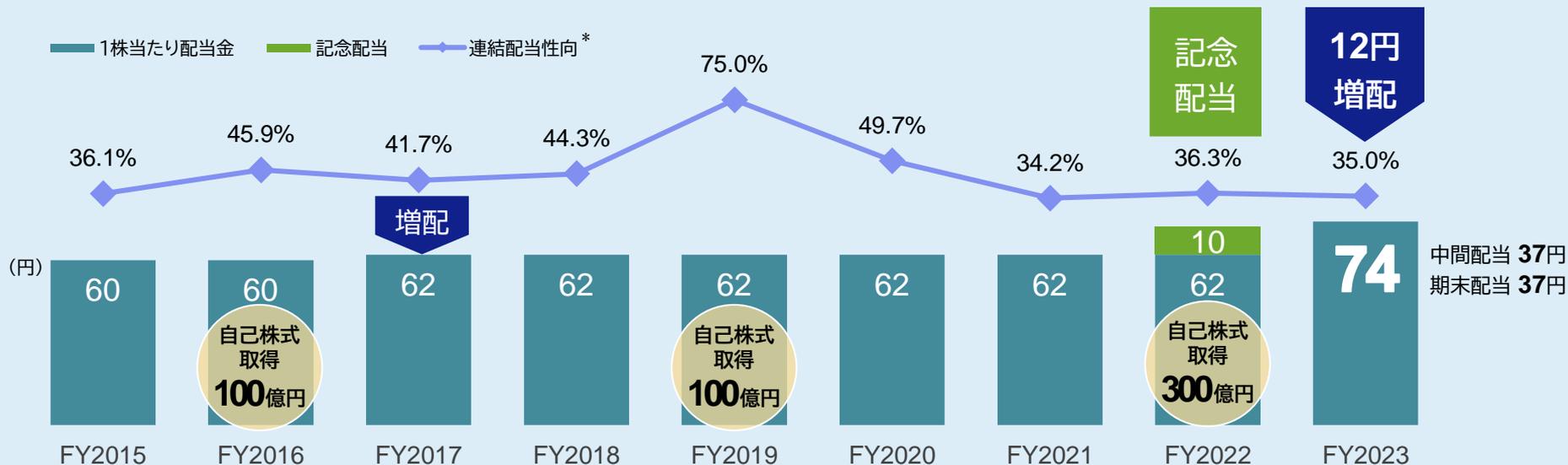
当期利益

660億円

前期比 12.0%減

基本方針

成長戦略に基づく投資を行ったうえで、積極的な利益還元に取り組む



※2022年度・2023年度の配当は予想

* 事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出

ESG
インデックス
組み入れ・
格付け

- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- CDP企業調査「Aリスト」企業 (分野:気候変動)
- CDP「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「プラチナ」
- 日本政策投資銀行(DBJ)環境格付け融資「ランクA」

ESG
関連表彰・
銘柄選定
など

- RBA*1監査の最高位プラチナ認定を海外主力工場で取得 (フィリピン・インドネシア・マレーシア):2022年
- 令和4年度新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」(地域共生部門):2023年2月
- 第4回ESGファイナンス・アワード・ジャパン 環境サステナブル企業部門「銅賞」:2023年2月
- 健康経営銘柄2023*2:2023年3月
- 日経225:2017年から選定

GPIFが採用する ESG国内指数6件全てに選定

FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPX カーボン エフィシエント 指数

MORNINGSTAR GenDi J Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

緑字:2022年4月以降に選定

*1 The Responsible Business Alliance 世界最大級のCSR推進企業同盟

*2 健康経営の目的・体制
<https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html>

私たちのパーパス

「省・小・精」から生み出す価値で
人と地球を豊かに彩る

EPSON